

機械器具 16 体温計
管理医療機器 皮膚赤外線体温計 JMDN コード 17888000

非接触体温計 TH03F

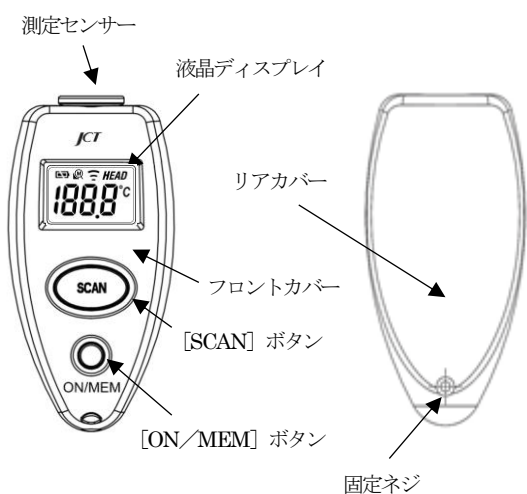
【禁忌・禁止】

1. 測定センサーが汚れたまま使用しないこと
[測定誤差の要因となるため]
2. 検温結果の自己診断や治療を行わないこと
[症状が悪化する原因となるため]

【形状・構造及び原理等】

1. 形状・構造

1) 形状



寸法（縦 x 横 x 厚さ）：79.1 x 39.0 x 19.3 mm

重量：31.5 g

2) 付属品

取扱説明書、添付文書、リチウムボタン電池（CR2032）
ストラップ、クイックマニュアル

3) 電氣的定格

- ① 電源：DC3V
- ② 電撃保護：内部電源機器、BF 形装着部

4) 性能及び安全性に関する規格等

- ① 測定方式：赤外線式
- ② IP 保護等級：IP22
- ③ 機能：体温計モード、温度計モード、メモリ機能（25 メモリ）
- ④ 測定温度範囲

：体温計モード（補正温度）	34.0 °C ~ 42.2 °C
：温度計モード（表面温度）	-22.0 °C ~ 80.0 °C

⑤ 測定精度

- ：体温計モード
±0.2°C（35°C ~ 42°C の場合）
±0.3°C（上記以外）
- ：温度計モード
±0.3°C（22.0°C ~ 42.2°C の場合）
±2°C 又は ±4 % のいずれか大きい方の値（上記以外）

⑥ 使用環境条件

：10°C ~ 40°C，15 ~ 85 % RH（結露なきこと）

⑦ 保管温度範囲：-20°C ~ 50°C，RH ≤ 85%

2. 原理

額から放射される赤外線をサーモパイルセンサーによって検出し、温度に換算する。また、測定された表面温度は舌下温度に換算して液晶ディスプレイに表示する。

【使用目的又は効果】

本品は、額の皮膚温度を測定するために用いる皮膚赤外線体温計であり、皮膚表面より放射される赤外線を測定センサーにて検出し、舌下温度に換算して表示する。また、モードを切り替えることによって実測温度を表示させることもできる。

【使用方法等】

1. 使用前の準備

- 1) 室温が 10°C ~ 40°C であることを確認すること
- 2) 室温に十分馴染ませてから使用すること
- 3) 測定センサーが汚れていないことを確認すること

2. 電源オン

- 1) [ON/MEM] ボタンを押し、本体を起動させる

3. 体温計モード測定

[HEAD] アイコンが点灯し、短い電子音（“ピッピッ”）が 2 回鳴ってから測定すること

- 1) センサーを額の中央から 1 cm 以内の位置で保持し、[SCAN] ボタンを押す

- 2) 長い電子音（“ピー”）が鳴り、検温終了を知らせた後、本品を額から外して値を読み取る

*37.5°C 以上を検出した場合には、短い電子音が 3 回（“ピーピーピー”）鳴る

4. 温度計モード測定

- 1) 測定モードの切り替え

[ON/MEM] ボタンを押したまま、[SCAN] ボタンを押し、液晶ディスプレイの [HEAD] アイコンを [] アイコンに切り替える

- 2) センサーを対象に向け、[SCAN] ボタンを押す
- 3) 測定した値を読み取る

5. メモリ機能 (体温計モードのみ)

- 1) [ON/MEM] ボタンを押し、[] アイコンの表示を確認する

*自動的に記録された 25 回分の測定結果を確認することができる

6. 電源オフ

[ON/MEM] ボタンを 5 秒間長押しするか、測定から 60 秒間放置すると、自動的に電源がオフになる

7. 電池の交換

- 1) リアカバーのネジを緩めて、リアカバーを外す
- 2) 古いボタン電池を抜き取り、新しいボタン電池を金属製のフックにしっかりと固定する
- 3) リアカバーの上側とフロントカバーの上側を組みつけ、リアカバーを閉じる
- 4) リアカバーのネジを締める

【使用上の注意】

1. 使用注意 (次の患者には慎重に適用すること)

- 1) 医師による診断に変わるものではないことに注意すること
- 2) 運動、入浴及び食事等の後は、30 分以上経過してから測定すること

2. 重要な基本的注意

- 1) 周囲温度は 10~40℃ の範囲で使用する
- 2) 本品が保管されている場所と測定する場所に温度差がある場合には、測定前に被験者と本品を少なくとも 15 分間同じ部屋に置いておくこと
- 3) 測定誤差の要因となるため、本品を長時間保持した後やポケットから出した直後に使用しないこと
- 4) 体温測定モードでの測定値は、測定した表面温度を舌下で測定した体温に変換したものであるため、体温の目安として使用すること
- 5) 測定センサーを傷つけないようにすること
- 6) 故障の原因になるため、本品を水につけないこと
- 7) 発煙・異臭又は異音が生じた場合には、直ちに使用を中止すること
- 8) 額の汗や化粧品はふき取ってから測定すること
- 9) 表示部にエラーコードが表示されたときは、取扱説明書の項目を確認し、対処すること

3. その他注意事項

- 1) 測定センサーに接触して測定しないこと
- 2) 高いところから落下させる等の強い衝撃を与えないこと

【保管方法及び有効期間等】

1. 保管方法

- 1) 温度：-20℃ ~ 50℃
- 2) 湿度：85% 以下 (ただし結露のないこと)

- 3) 直射日光や強い電磁波の生じる場所、ほこりの多い場所では保管しないこと
- 4) 長期間 (約 1 か月) 使用しない場合には、電池を取り出して保管すること

2. 有効期間

耐用期間： 4 年間 (自己認証による)

【製造販売業者及び製造業者等の氏名又は名称等】

[製造販売業者]

株式会社ジェイ・シー・ティ

広島県広島市安佐南区祇園 1 丁目 28 番 7 号

TEL: 082-871-3308

[製造業者]

Radiant Innovation Inc. (台湾)